

一般競争入札説明書

この入札説明書は、沖縄県立美来工科高等学校校長が発注するD X機器売買について、次のとおり一般競争入札（以下「入札」という。）を行うにあたり、関係法令及び本件に関する入札の公告等の規定に基づき、入札に参加する者（以下「入札者」という。）が熟知し、かつ、遵守しなければならない一般的事項を定めたものである。

1 公告日： 令和7年9月18日

2 入札に付する事項

- (1) 品名・数量： 美来工科高等学校D X機器（仕様書のとおり）
- (2) 納入期限： 令和7年12月25日（木）
- (3) 納入場所： 沖縄県立美来工科高等学校
- (4) 発注所属： 沖縄県立美来工科高等学校
- (5) 契約の内訳： 別添、契約書案・仕様書のとおり

3 入札条件書に関する質問及び回答について

入札条件書等に関する質問は、令和7年10月1日（水）正午までに、F A Xで受け付ける。電話または窓口での口頭による質問は、原則として受け付けない。

（美来工科高等学校 F A X：098-937-5309）

質問に対する回答は、F A Xにて回答する。

4 入札に参加する者に必要な資格

入札公告に示すとおり。

5 入札に参加することができない者

入札公告に示すとおり。

6 入札への参加申請について

(1) 入札保証金

入札公告に示すとおり。

(2) 提出書類

ア 提出確認書類

イ 一般競争入札参加資格確認申請書

ウ 競争入札参加資格名簿に登録された者であることを証明する書類の写し

エ 入札保証金に関する書類

・入札保証金免除申請書（別紙入札保証金説明書を参照）

※ 入札保証金免状申請書を提出する者は同種・同規模契約の履行実績が分かる契約書（写し）納品書（写し）も提出すること。

オ 応札明細書（設置機器リスト及びカタログの写しを添付）

カ 確約書

キ 法人税、消費税及び地方消費税の納税証明書の写し

ク 健康保険・厚生年金保険に加入していることが確認できる書類

ケ 社会保険に加入義務がないことについての申出書（該当者のみ）

コ 返信用封筒（入札参加資格確認結果通知書用）

※ 長径 3 号の封筒に 110 円切手を貼付し、貴社所在地、宛名人を記入しておくこと。

(3) 申請書等の受付期間及び提出先

ア 期 間 公告日から令和7年10月1日(水) 午後5時00分まで（必着）ただし、受付最終日に、台風等により業務停止（一部停止も含む。）となった場合には、当日消印も有効とする。

イ 提出先 〒904-0001 沖縄県沖縄市越来3丁目17番1号
美来工科高等学校 事務室（西里）あて

(4) 入札参加資格の確認結果通知

結果は会場にて通知するが、入札書を郵送した者にはFAXにて通知する。

なお、入札に参加できないと通知された者は、通知日の翌日から入札前日（必着）に、書面をもって美来工科高等学校長に説明を求めることができる。

7 入札書の作成及び提出時の留意点について

(1) 入札書の作成

ア 入札書は、別添の様式を使用し、入札者の所在地、商号、氏名を記載のうえ、代表者印（委任した場合は代理人）を押印すること。

イ 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額のうち課税対象金額の100分の10に相当する金額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）をもって落札額とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額（ただし、非課税対象額については100分の100の額）を入札書に記載すること。

(2) 入札書の提出

次の8-(1)の場所に令和7年10月8日(水)午前11時に持参し、入札者が他人に代理させるときは、必ず委任状を提出すること。

8 入札執行の場所及び日時

(1) 場所： 沖縄県立美来工科高等学校小会議室

(2) 日時： 令和7年10月8日(水) 午前11時00分

ただし、入札日に台風等により業務停止（一部停止も含む。）となった場合には、開札を中止または延期し、新たな日程等については後日別途通知する。

9 入札執行に関する事項

(1) 入札心得

ア 入札者は、契約内容及び入札条件等を熟知の上、入札しなければならない。

イ 入札者は、入札書をいったん提出した後は、開札の前後を問わず、書換え、引換え、又は撤回することはできない。

(2) 開札方法

ア 開札は、前記 8 の入札場所及び日時で行う。

イ 開札は、入札執行事務に関係のない職員を立ち合わせて行うものとする。

ウ 開札の結果落札者がいない場合は、再度入札を行う。

エ 再度入札は 2 回（初回と合わせ計 3 回）までとする。

(3) 入札の取り消し等

入札者が連合（談合）し、又は不穏な行動をなす場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときには、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることができる。

(4) 入札の無効

次の入札は、無効とする。

なお、無効の入札をした者は、再度の入札に加わることはできない。

ア 入札参加資格のない者のした入札

イ 入札書の表記金額を訂正した入札

ウ 入札書の表記金額、氏名、印影又は重要な文字が誤脱し、又は不明瞭な入札

エ 同一人が同一事項についてした 2 通以上の入札

オ 連合その他不正の行為があった入札

カ 入札条件に違反した入札

キ 入札保証金が所定の金額に達しない者が行った入札

ク 入札参加資格確認申請において虚偽の申請を行った者のした入札

ケ 入札の日から落札決定の日までにおいて、県の指名停止又は指名除外の措置を受けた者のした入札

コ 委任状を持参しない代理人のした入札

サ 2 人以上の者から委任を受けた者が行った入札

10 持参するもの

入札書、委任状（代理人が入札をする場合）

印鑑（書類に訂正等がある場合や再入札に必要となるため）

ア 代表者が参加をする場合 会社代表者印

イ 代理人が参加をする場合 委任状の代理人使用印

ウ 再入札の入札書数枚（再入札に使用するため）

11 落札者の決定方法

(1) 落札決定にあたっては、有効な入札書を提出した者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって入札した者を落札者とする。

- (2) 落札となるべき価格の入札書を2人以上が提出している場合は、直ちに入札をした者にくじを引かせて落札者を決める。
- (3) 入札者がいないとき、又は再度の入札に付しても落札者がいないときは、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号により随意契約ができるものとする。

12 契約に当たっての留意事項

(1) 契約事項等

- ア 契約事項は、契約書（案）仕様書による。
- イ 落札者は、発注者が作成する契約書に記名押印し、落札決定の日から7日以内に契約を取り交わすものとする。
- ウ 契約の確定時期は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条第5項の規定により、両者が契約書に記名押印したときに確定するものとする。
- エ 落札者がイに定める期間内に契約書等を提出しないときは、落札を取り消すことがある。

(2) 契約保証金

落札者は、財務規則（昭和47年沖縄県規則第12号）第101条の規定により、契約金額（税込）の100分の10以上を納付すること。ただし、次のア又はイのいずれかに該当するときは、契約保証金の全部又は一部の納付を免除することができる。

- ア 契約の相手が保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を締結したとき。
- イ 契約の相手方が国（独立行政法人、公社及び公団を含む。）又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を締結した実績を有し、これらのうち過去2箇年の間に履行期限が到来した2件以上の契約を全て誠実に履行し、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。

13 その他

- (1) 入札参加資格通知書を受理した後、入札書を提出する前に入札を辞退する場合は、入札辞退届を提出すること。
- (2) 天災、その他やむを得ない理由により開札ができない場合は、これを中止または延期する。なお、この場合における損害は、入札者の負担とする。
- (3) 入札説明書に記載された内容の無断転載及び転用は禁止する。
- (4) 落札決定後、契約締結等に関する調整がある場合は、誠実に対応すること。

（関係様式等）

- 1 提出書類確認書
- 2 一般競争入札参加資格確認申込書
- 3 契約実績書
- 4 債権・債務者登録申請書
- 5 債権・債務者登録申請書記載例
- 6 入札保証金納付書発行依頼書

- 7 入札保証金返還請求書
- 8 入札書
- 9 入札書記入例
- 10 委任状
- 11 委任状記入例
- 12 入札辞退届
- 13 確約書
- 14 社会保険に加入義務がないことについての申出書
- 15 質疑応答書